

## フィールドワーク科目 Q & A (平成 26-29 年度生用)

※ FW 科目のシラバス内容を確認すること。Q&A はシラバスを補足するものです。

※ 不明な点は担当教員に相談すること。

### <単位認定の考え方について>

Q 1 : 一つのテーマで、2 単位以上を取得できますか? <シラバスの記述とあっていないため一部削除>

A : 可能です。

Q 2 : イベントのボランティア活動を予定していましたが、当日、台風によってイベントが中止になってしまいました。単位はどうなりますか?

A : 活動内容が当日に限られていた場合には、単位認定のための時間積算に加えることはできません。ただし、例えば 3 日間のイベントのうち、1 日のみが中止となった場合には、2 日分は時間積算に加えることができます。

また、イベントそのものは中止になったものの、当日至るまでの準備期間での活動がある場合には、準備期間分は時間積算に算入可能です。ただし、中止になった結果、想定していた単位分の時間積算に満たなくなってしまう場合には、同様のテーマの別イベントと組み合わせが可能かどうかなどを検討する必要があります。コモンズ教員に相談してください。

### <提出書類の記入と準備>

Q 3 : 削除 <受入期間のカウント方法で Q 4 とほぼ重複しているため>

Q 4 : 「活動計画書」の「活動時間」には現地での活動時間のみを記入するのですか?

A : 実際に現地での活動時間のみ記入してください。ただし、活動前の企画立案や実施方法の協議などのために行う会議等を現地以外 (大学内を含む) で実施する場合、それを活動の一部として、計画書に含めることができます。

Q 5 : 削除 <事前事後学習時間を活動日誌に含めるかという Q でわかりにくいため>

Q 6 : 受け入れ先による「評価書」はどのように依頼したらよいのですか?

A : 地域交流センター (地域交流室、国際交流室、キャリアサポート・センター) が申し込み窓口となっているものについては、センターの各室が受け入れ先に依頼します。コモンズが申し込み窓口となっているもの (各コモンズ学生限定のもの) については、コモンズ教員が受け入れ先に依頼します。学生が直接依頼する必要はありません。

これら以外のケースでは学生が直接受け入れ先に依頼してください。依頼方法については「**受け入れ先への評価依頼マニュアル**」を参照のこと。また、評価書の様式には「地域調査・地域交流・企画運営用」、「ボランティア用」「インターンシップ用」の 3 種類がありますので、どの様式で依頼するかについてはコモンズ教員の指示を受けてください。

なお、ボランティアではイベント等の主催者が独自の「証明書」(ボランティアに従事したことを証明する書類) を発行している場合もあります。その場合には、これをもって評価書の代替としても構いません。

### <計画書承認の対象になるものとならないもの>

Q 7 : アルバイトで観光ガイドをしているのですが、現地ではガイド時間以外にも前泊・後泊などで時間があります。アルバイト以外の時間を使って、観光地における現地ガイドの役割や観光地の特性調査をしたいのですが、科目の対象となるのでしょうか。また、夏休みには沖縄の民宿で住み込みバイトをしながら、沖縄の観光調査

をしようと考えています。このような場合はいかがでしょうか？

A：原則的にアルバイトは科目の対象とはなりません。しかし、テーマに妥当性があり、手当が支給される時間帯とそれ以外の時間帯を明確に分けることができるのであれば、科目に適合する可能性はあります。コモンズ教員に相談してください。

Q8：大学のサークルや学生会執行委員会などの学生団体の枠で活動している内容でも認められますか？

A：フィールドワーク科目の趣旨に合致するものであれば認められます。

Q9：台湾の開南大学主催の夏季語学研修ですが、これは日程が15日間だけですが対象となりますか？

A：一括4単位認定の対象となる「短期語学研修を含む異文化調査体験等に関する活動」には該当しません。こちらは4週間以上の現地滞在が必要です。ただし、国外の活動についても「地域調査、地域交流等に関する活動」（例えば学生独自調査や交流会等）、「ボランティアに関する活動」、「インターンシップに関する活動」（原則的に大学が事前に認めているもののみ）などが対象として認められていますので、例えば夏季語学研修に含まれる文化体験（日帰り旅行）、学生交流、1泊2日旅行などの機会を活用し、さらには語学研修期間中の週末や放課後を活用する形で、独自のテーマを設定することで対象となる可能性はあります。コモンズの教員に相談してください。なお、中国語クラス（20回）の語学研修部分は時間積算に加えることはできません。語学研修部分は「海外語学研修」の単位として取得するか、検討してください。

Q10：地域交流センターで紹介されたものであれば、必ず単位認定されますか？

A：単位認定はあくまで学生の自主的な計画と実践にもとづきます。センターで紹介された活動をすれば自動的に単位が認定される訳ではありません。しっかりと自分で活動の意義や目標について考え、計画書を作成して、真摯な姿勢で活動を実践する必要があります。よって、センターが紹介した場合でも最終的に単位認定されないことはあり得ます。

Q11：削除

#### <活動開始時期について>

Q12：計画書を作成して承認されるまでにはある程度の日数がかかると思うのですが、イベント・ボランティアの時期が差し迫っています。承認前に活動に参加しても大丈夫でしょうか？

A：計画書を提出して、教員の指導を受けて、計画書が承認されてから活動を始めるのが基本ですので、十分に時間的な余裕を持って計画書の提出を行ってください。ただし、教員の承諾があれば、計画書の審査中でも活動を開始して構いませんので、早急に教員に相談してください。完全に完了した活動を後から申請しても、承認することはできません。

#### <活動時間の積算>

Q13：削除 <2年次生を対象とした質問のため>

Q14：イベントの企画段階での打ち合わせについても時間積算の対象となりますか？

A：活動前の企画立案や実施方法の協議などのために行う会議等を現地以外（大学内を含む）で実施する場合、それを活動の一部として、計画書に記載しているもののみ活動時間に含めることができます。

Q15：共同調査のために学内で準備を進めていますが、これも時間積算の対象となりますか？

A：活動前の企画立案や実施方法の協議などのために行う会議等を現地以外（大学内を含む）で実施する場合、それを活動の一部として、計画書に記載しているもののみ活動時間に含めることができます。

Q16：活動先への移動時間は積算時間に含まれますか？

A：含まれません。